

ロシア極東経済発展ニュース

2019年9月

キー・トピック

- プーチン大統領が
東方経済フォーラム
- 「極東通り」展覧会を4
万8000人が訪問
- ロシア極東の造船所「ズ
ヴェズダ」が39隻の船舶の



東方経済フォーラムニュース

2019年9月23日「ガジエタ・ルー」

プーチン大統領が東方経済フォーラム2019成果報告に基づく指令リストを承認

プーチン大統領がロシア極東における医療クラスター創設案、エコロジー観光開発に向けた投資家誘致案を命令した。さらに、プーチン大統領は、極東連邦管区の若い家族の住宅ローンに年間最大2パーセントの補助金を提供する法律改正を政府に指示した。下された指令はそれぞれ、教育、医療、文化、地域の航空輸送の開発などの分野に関連している。

<https://www.kp.ru/daily/27026/4090328>

2019年9月18日「ロシア新聞」

沿海地方が東方経済フォーラムで32件以上の投資プロジェクト実施合意書に署名

締結された契約は、2軒の火力発電所の建設と近代化、ウラジオストク環状道路の建設を含む主要なインフラプロジェクトの実施を計画するものだ。「ロシアヘリコプター社」との合意により、「プログレス航空会社」の近代化が実現し、地域内の航空輸送と航空救急用ヘリコプターの建設が行われることになる。

<https://rg.ru/2019/09/18/reg-dfo/primorskij-kraj-zakliuchil-32-soglasheniia-v-ramkah-vef.html>

2019年9月9日「コムソモリスカヤ・プラヴダ」

「極東通り」展覧会を4万8000人が訪問

「極東通り」展の一般公開日である最終日の2日間で、4万人以上が展示会を訪れた。訪問客は、子だ

くさんの大家族、年金受給者、退役軍人、青少年団体の代表者などの社会カテゴリーに属する3000人が含まれていた。東邦経済フォーラムの一環として開催された展示会では、訪問ゲストに向けて極東連邦管区の地域のユニークな特徴、経済的可能性、観光の機会、文化的伝統が紹介された。

<https://www.kp.ru/daily/27026/4090328>

ロシア極東の国家政策

2019年9月26日「インテルファクス」

極東地域に、社会開発のために10億ルーブルが追加投入

2019年から2020年にかけて極東連邦地区の経済成長の中心地である3つの連邦主体に集中社会・インフラ開発のための資金が連邦予算から投入される。ブリヤート共和国、ザバイカリエ地方、アムール州に支援金が提供される。これらの資金は特に医療、文化、スポーツ施設の近代化、医療機器の購入に使用されることになる。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=1068226>

2019年9月18日「ガジエタ・ルー」

中国に「ロシア極東投資誘致・輸出支援局」支部が開設

対応する取り決めはロシア・中国政府の首脳の間で定例会議で署名された。同支部は、中国の経済界に極東での投資機会に関する情報を提供し、貿易、経済、投資協力の発展のための助言を提供することが期待されている。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/special.asp?sec=1749&id=1065700>

2019年9月17日「タス通信」

「ロシア極東ベンチャー基金」が来年初めに設立の可能性

プーチン大統領が、東邦経済フォーラムでロシア極東社会機関の代表者との会合で、極東連邦地区のベンチャー基金がロシア極東開発基金の資金提供を受けて設立されると述べた。最初の段階では、最大15億ルーブルが割り当てられることになる。将来の主な課題は、シード投資の実施と有望なスタートアップ実施のための補助金の提供である。

<https://tass.ru/ekonomika/6892718>

ロシア極東経済ニュース

2019年9月17日「タス通信」

中国国家開発銀行がナホトカで17億ドルのメタノール生産に資金提供

中国国営開発銀行とロシアの「VEB.RF」が、天然ガス処理プラントの建設資金の戦略的パートナーシップに合意した。対応する協定は、ロシアと中国政府首脳の間で定例会議で署名された。

<https://tass.ru/ekonomika/6895409>

2019年9月16日「タス通信」

ロシア極東開発コーポレーションが過去5年間で3.2兆ルーブル相当の契約を締結

同社は、極東の優遇政権の住民と1819年の契約を締結している、と同社のCEOであるA.カヌコエフ氏は述べた。現在、極東連邦地区では20の経済特区が設置されており、5つの構成主体に拡張されているウラジオストク自由港制度も機能している。

<https://tass.ru/ekonomika/6890347>

ロシア極東発展の新たなメカニズム：成功の実例

2019年9月30日「ロシア新聞」

ハバロフスク空港国内便の新ターミナルが2018年10月に営業を開始

プロジェクトは2018年10月に開始された。新ターミナルの開港式典は、ウラジミールプーチン大統領の立ち合いの下、第5回東方経済フォーラムで行われた。総投資額は49億ルーブルとなった。空港施設の収容人数は、年間最大300万人となる。新ターミナルは経済特区「ハバロフスク」の優遇制度により建設された。

<https://rg.ru/2019/09/30/reg-dfo/terminal-vnutrennih-avialinij-aeroporta-habarovska-zarabotaet-v-oktiabre.html>

2019年9月10日「ガジエタ・ルー」

ロシア極東の「ズヴェズダ造船所」が39隻の船舶の設契約を締結

造船所は「ロスネフチ社」が率いる投資家のコンソーシアムにより、沿海地方に建設されている。同社のイーゴリ・セーチン社長は「ロスネフチ社」が28隻の船舶の注文を行ったと述べた。造船所では、北極圏のLNG開発事業「北極LNG2」で稼働するガス運搬船15隻も建設可能と予測されている。「ズヴェズダ」は、大容量船舶、氷級船舶、その他の種類の海洋船舶機器を生産することになる。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=1063443>